

二酸化炭素消火設備 安全措置ガイド

はじめに

二酸化炭素消火設備は、二酸化炭素消火剤を防護区画に放出し、酸素濃度を希釈・低下させることにより消火する不活性ガス消火設備です。

二酸化炭素消火剤は、消火剤自体に毒性があり危険です。消火剤を吸い込むと、意識喪失、その後短時間で生命に危険が及びます。消火剤を放出した防護区画（貯蔵容器室を含む）及び放出した区画から消火剤が流出する可能性がある場所は、十分に換気し、安全が確認されるまで、絶対に立ち入らないでください。また、消火剤を放出した防護区画（貯蔵容器室を含む）及び放出した区画から消火剤が流出する可能性のある場所に、誤って人が立ち入らないようにしてください。

この図書（安全措置ガイド）は、消防法施行規則第19条の2第1項第4号に記された「設備の構造並びに工事、整備及び点検時においてとるべき措置の具体的内容及び手順を定めた図書」です。常に、制御盤付近に備えておき、工事、整備、点検等により防護区画内に立ち入る場合、または、二酸化炭素消火設備を取り扱う場合は、事前によく読み、消火設備のシステムや機能、安全措置の手順等をよく理解してください。

また、本消火設備の操作方法、各主要機器の詳細、点検内容については、「取扱説明書」をご確認ください。

目

次

1 章	二酸化炭素消火設備の構成
2 章	二酸化炭素消火設備の起動方式
3 章	防護区画に立ち入る場合の安全措置
4 章	閉止弁の操作方法と状態確認
5 章	自動手動切換スイッチ等の操作方法
添付資料 1	【系統図】
添付資料 2	【平面図】

1 章 二酸化炭素消火設備の構成

この二酸化炭素消火設備は、固定式の消火設備で、**全域放出方式**を採用しています。**全域放出方式**とは、火災が発生した防護区画を密閉し、防護区画内に固定設置した噴射ヘッドから二酸化炭素消火剤を放出し、防護区画内の火災を消火する方式です。

一般的な二酸化炭素消火設備の構成例を、図1に示します。設置されている消火設備の構成については、添付資料1【系統図】及び添付資料2【平面図】を参照してください。

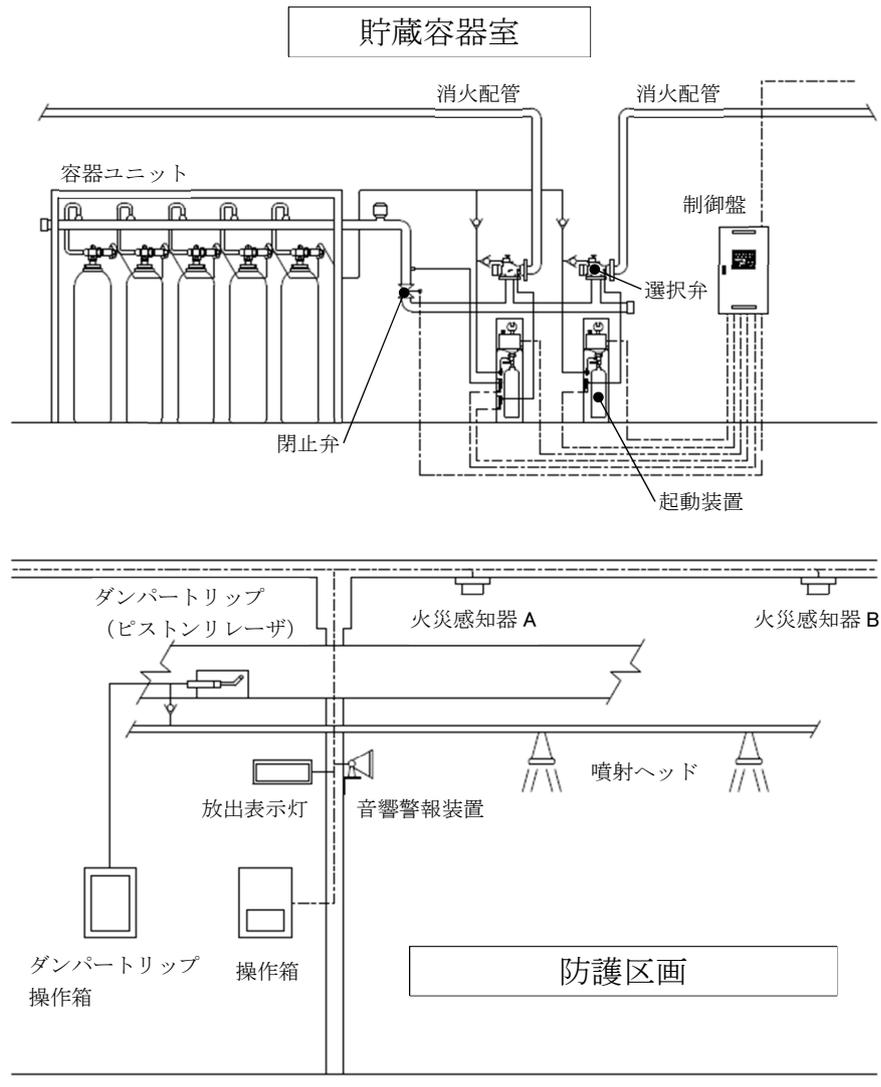


図1 二酸化炭素消火設備 機器の構成例 (防護区画が複数ある場合)

2章 二酸化炭素消火設備の起動方式

二酸化炭素消火設備の起動方式は、火災感知器の作動による「**自動起動方式**」と操作箱（手動起動装置）の操作による「**手動起動方式**」があります。

自動起動方式は、制御盤に接続された火災感知器が作動すると、スピーカから退避放送が始まり、遅延時間が経過した後に、自動的に消火剤を放出します。

手動起動方式は、防護区画出入口付近に設けられた操作箱の扉を開けると、スピーカから退避放送が始まり、操作箱の「起動スイッチ」を押すと、遅延装置が動作している間、「起動」表示灯が点滅します。遅延時間が経過した後に、消火剤を放出します。遅延時間が経過するまでに「緊急停止スイッチ」を押すと、システムの起動を停止することができます。

起動方式は、操作箱の「**自動手動切換スイッチ**」または制御盤の「**主自動主手動切換スイッチ**」で切り換えます。自動手動切換スイッチ等の操作方法については、5章「自動手動切換スイッチ等の操作方法」を参照してください。

3章 防護区画に立ち入る場合の安全措置

工事、整備、点検その他の特別の事情により、二酸化炭素消火設備が設けられている防護区画に立ち入る場合は、消防法令上、**二酸化炭素消火設備の安全措置**を講じる必要があります。これは、二酸化炭素消火設備の誤放出による人的被害が発生する事故のリスクを低減するために行う**事故防止策の一環**であり、消防法施行規則第19条の2で定められている通り、**防火対象物の関係者の義務**になります。

防護区画に立ち入る場合は、以下に記すフローに従って安全措置を行ってください。

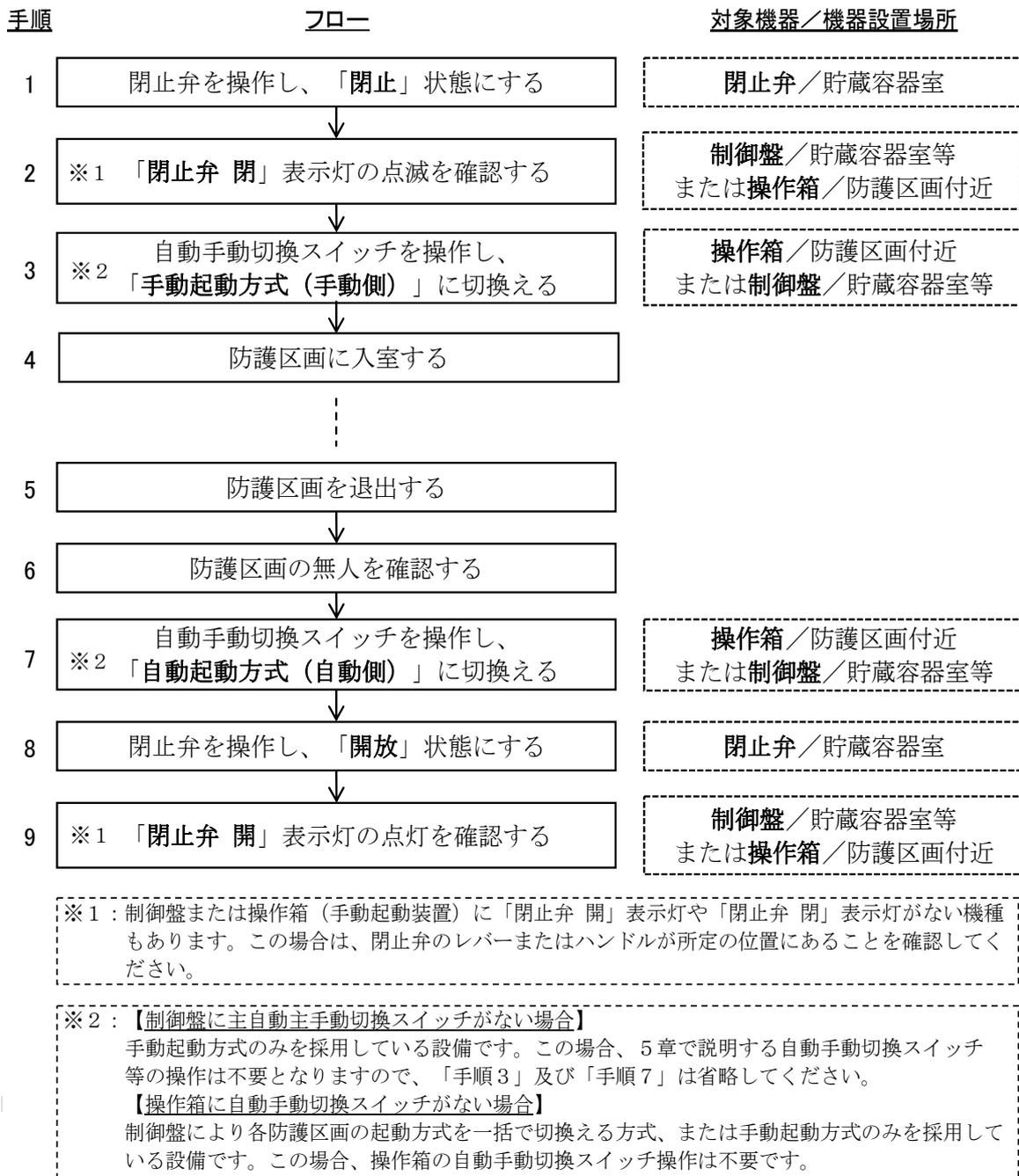


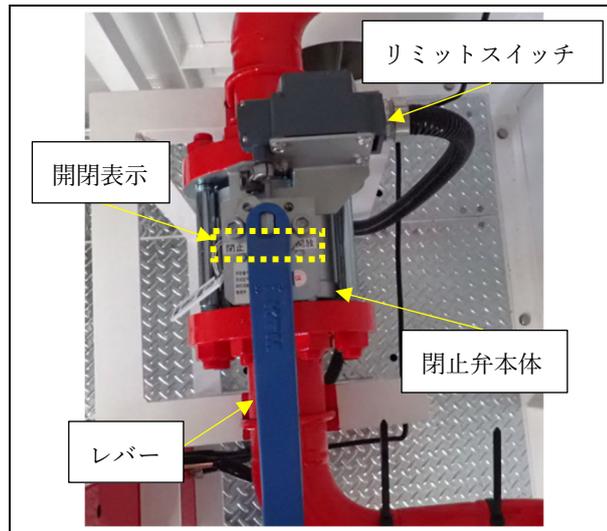
図2 防護区画に立ち入る場合の安全措置

4章 閉止弁の操作方法と状態確認

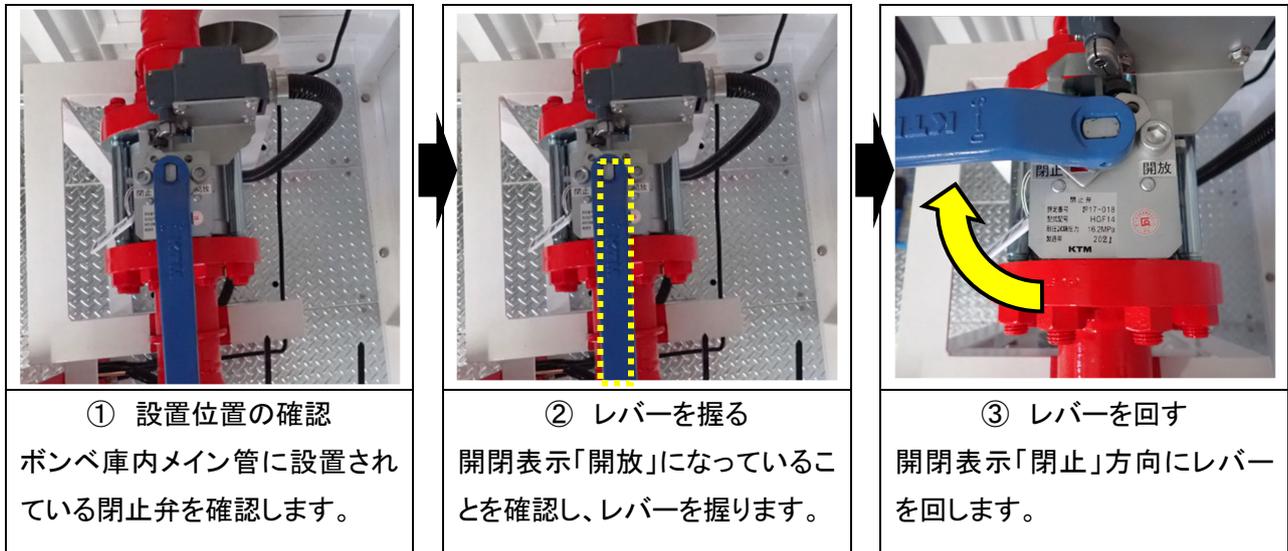
制御盤または操作箱（手動起動装置）に「閉止弁開」表示灯や「閉止弁閉」表示灯がない機種もあります。この場合は、閉止弁のレバーまたはハンドルが所定の位置にあることを確認してください。

4-1. HGF14型（集合管用閉止弁）

1) 外観

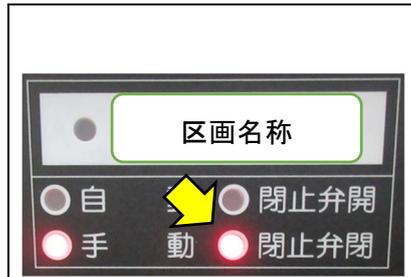


2) 閉止状態にする場合（入室時）





④ 表示灯を確認する
操作箱「閉止弁閉」表示灯が点滅していることを確認します。

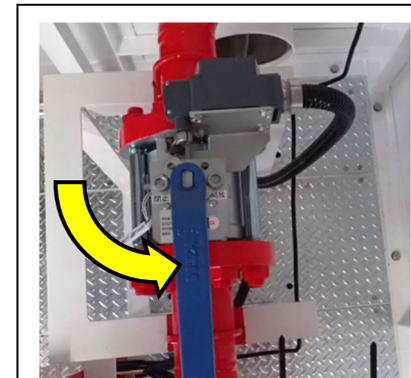


⑤ 表示灯を確認する
制御盤区画パネル部「閉止弁閉」表示灯が点滅していることを確認します。

3) 開放状態にする場合（退室時）



① レバーを握る
開閉表示が「閉止」になっていることを確認し、レバーを握ります。



② レバーを回す
開閉表示「開放」方向にレバーを回します。



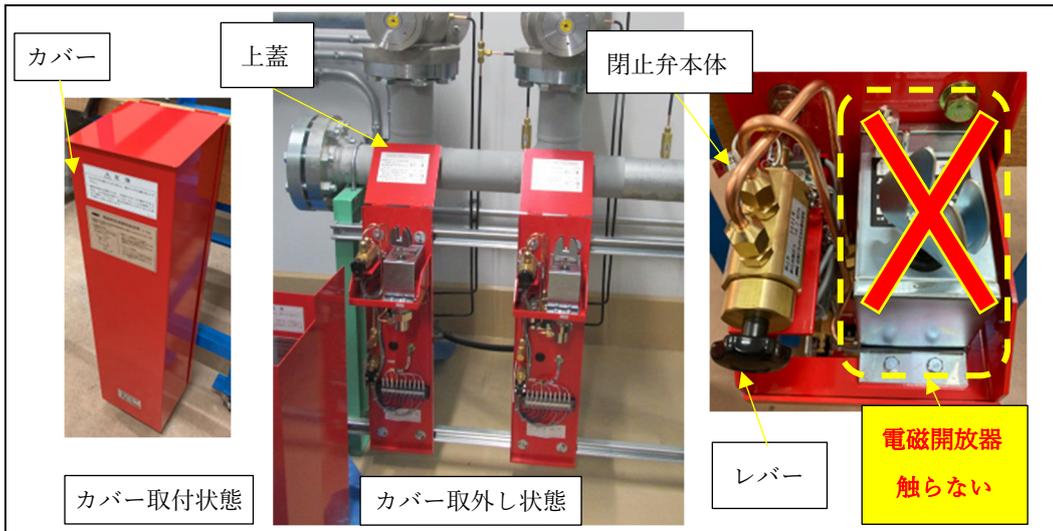
③ 表示灯を確認する
操作箱「閉止弁閉」表示灯が消灯していることを確認します。



④ 表示灯を確認する
制御盤区画パネル部「閉止弁開」表示灯が点灯していることを確認します。

4-2. HB-K-01型（銅管用閉止弁）

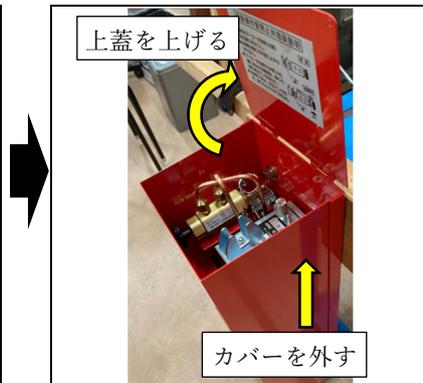
1) 外観



2) 閉止状態にする場合（入室時）



① 設置位置の確認
ボンベ庫内選択弁付近の起動装置格納箱に付設されている閉止弁を確認します。



② カバーを外す
上蓋を上げ、前面に取り付けられているカバーを持ち上げながら外します。



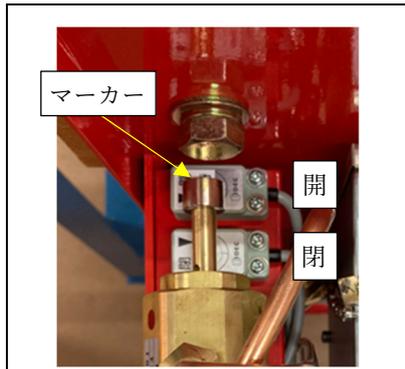
③ 安全ピンを抜く
写真のように安全ピンが差さっていることを確認した後、安全ピンを抜きます。

<p>④ レバーを引く レバーを引き、弁を閉止します。 となりの電磁開放器は絶対に触らないでください。起動し、消火剤が出ます。</p>	<p>⑤ 閉止状態の確認 マーカ-が閉止位置になっていることを確認します。</p>	<p>⑥ 安全ピンを差す 誤ってレバーを押し込まないように、レバー側の穴に安全ピンを差します。</p>

<p>⑦ 表示灯を確認する 操作箱「閉止弁閉」表示灯が点滅していることを確認します。</p>	<p>⑧ 表示灯を確認する 制御盤区画パネル部「閉止弁閉」表示灯が点滅していることを確認します。</p>

3) 開放状態にする場合 (退室時)

<p>① 閉止状態の確認 マーカ-が閉止位置になっていることを確認します。</p>	<p>② 安全ピンを抜く レバー側に差した安全ピンを抜きます。</p>	<p>③ レバーを押す レバーを押し、弁を開放します。</p>



④ 開放状態の確認
マーカーが開放位置になっていることを確認します。



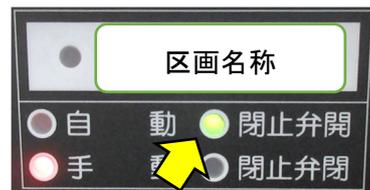
⑤ 安全ピンを差す
マーカー側の穴に安全ピンを差します。



⑥ カバーを取付ける
カバーを取り付け、上蓋を閉じます。閉止状態では、レバーがカバーに接触して取付られないようになっております。



⑦ 表示灯を確認する
操作箱「閉止弁開」表示灯が消灯していることを確認します。



⑧ 表示灯を確認する
制御盤区画パネル部「閉止弁開」表示灯が点灯していることを確認します。

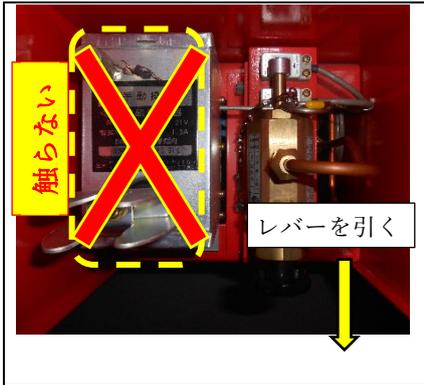
4-3. HB-K-01型（銅管用閉止弁）※閉止弁と電磁開放器が左右逆のもの（旧型）

1) 外観

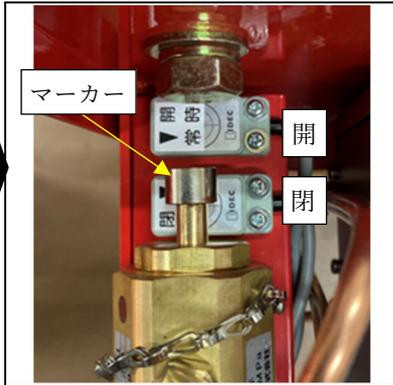


2) 閉止状態にする場合（入室時）

<p>① 設置位置の確認 ボンベ庫内選択弁付近の起動装置格納箱に付設されている閉止弁を確認します。</p>	<p>② 上蓋、扉を開ける 上蓋を上げ、扉を開けます。</p>	<p>③ 安全ピンを抜く 写真のように安全ピンが差さっていることを確認した後、安全ピンを抜きます。</p>



④ レバーを引く
レバーを引き、弁を閉止します。
となりの電磁開放器は絶対に触らないでください。起動し、消火剤が出ます。



⑤ 閉止状態の確認
マーカーが閉止位置になっていることを確認します。



⑥ 安全ピンを差す
誤ってレバーを押し込まないように、レバー側の穴に安全ピンを差します。

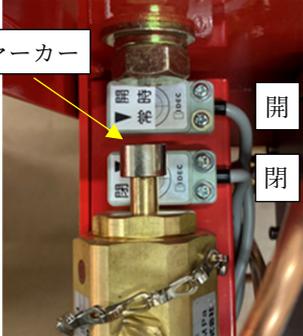
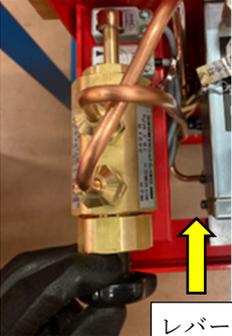
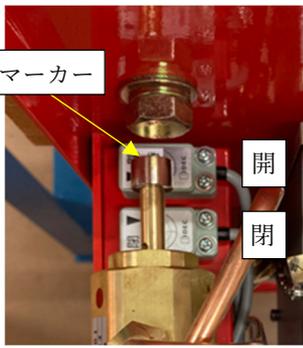
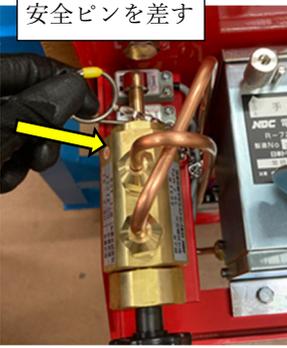


⑦ 表示灯を確認する
操作箱「閉止弁閉」表示灯が点滅していることを確認します。



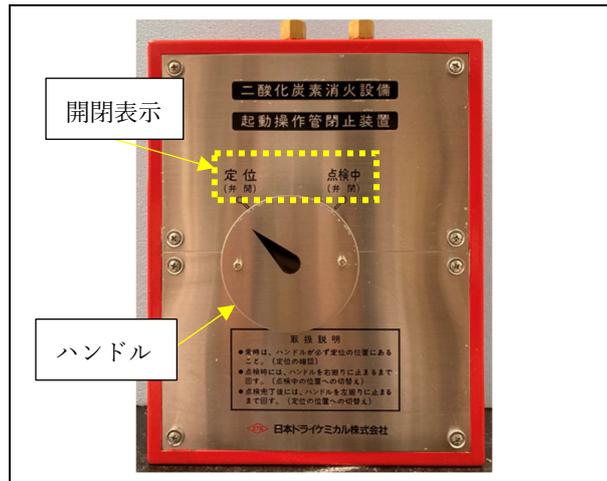
⑧ 表示灯を確認する
制御盤区画パネル部「閉止弁閉」表示灯が点滅していることを確認します。

3) 開放状態にする場合 (退室時)

		
<p>① 閉止状態の確認 マーカーが閉止位置になっていることを確認します。</p>	<p>② 安全ピンを抜く レバー側に差した安全ピンを抜きます。</p>	<p>③ レバーを押す レバーを押し、弁を開放します。</p>
		
<p>④ 開放状態の確認 マーカーが開放位置になっていることを確認します。</p>	<p>⑤ 安全ピンを差す マーカー側の穴に安全ピンを差します。</p>	<p>⑥ 扉、上蓋を閉じる 扉、上蓋を閉じます。閉止状態では、レバーが扉に接触して閉じられないようになっています。</p>
		
<p>⑦ 表示灯を確認する 操作箱「閉止弁閉」表示灯が消灯していることを確認します。</p>	<p>⑧ 表示灯を確認する 制御盤区画パネル部「閉止弁開」表示灯が点灯していることを確認します。</p>	

4-4. HB-KD-01型 (銅管用閉止弁)

1) 外観



2) 閉止状態にする場合 (入室時)

<p>① 設置位置の確認 ボンベ庫内にある閉止弁を確認します。</p>	<p>② ハンドルを握る 開閉表示「定位置 (弁開)」になっていることを確認し、ハンドルを握ります。</p>	<p>③ ハンドルを回す 開閉表示「点検中 (弁閉)」方向にハンドルを回します。</p>

<p>④ 表示灯を確認する 操作箱「閉止弁閉」表示灯が点滅していることを確認します。</p>	<p>⑤ 表示灯を確認する 制御盤区画パネル部「閉止弁閉」表示灯が点滅していることを確認します。</p>

3) 開放状態にする場合 (退室時)



① ハンドルを握る
開閉表示が「点検中 (弁閉)」になっていることを確認し、ハンドルを握ります。



② ハンドルを回す
開閉表示「定位 (弁開)」方向にハンドルを回します。



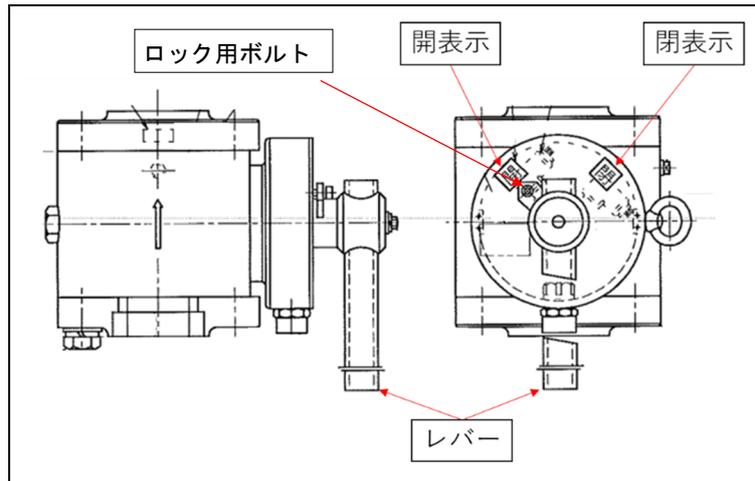
③ 表示灯を確認する
操作箱「閉止弁開」表示灯が消灯していることを確認します。



④ 表示灯を確認する
制御盤区画パネル部「閉止弁開」表示灯が点灯していることを確認します。

4-5. HB-GF型 (25A~100A: 集合管用閉止弁)

1) 外観



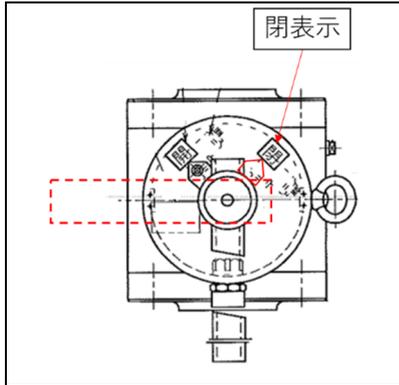
2) 閉止状態にする場合 (入室時)

<p>① 設置位置の確認 ボンベ庫内メイン管に設置されている閉止弁を確認します。</p>	<p>② レバーを握る 開閉表示「開」になっていることを確認し、ロック用ボルトを緩めレバーを握ります。</p>	<p>③ レバーを回す 開閉表示「閉」方向にレバーを回します。開閉表示「閉」になっていることを確認し、ロック用ボルトを締めます。</p>

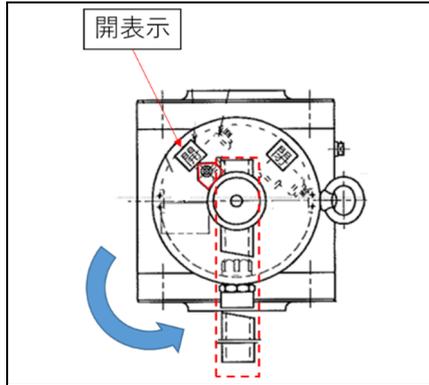
<p>④ 表示灯を確認する 操作箱「閉止弁閉」表示灯が点滅していることを確認します。</p>

<p>⑤ 表示灯を確認する 制御盤区画パネル部「閉止弁閉」表示灯が点滅していることを確認します。</p>

3) 開放状態にする場合（退室時）



① レバーを握る
開閉表示「閉」になっていることを確認し、ロック用ボルトを緩めレバーを握ります。



② レバーを回す
開閉表示「開」方向にレバーを回します。開閉表示「開」になっていることを確認し、ロック用ボルトを締めます。



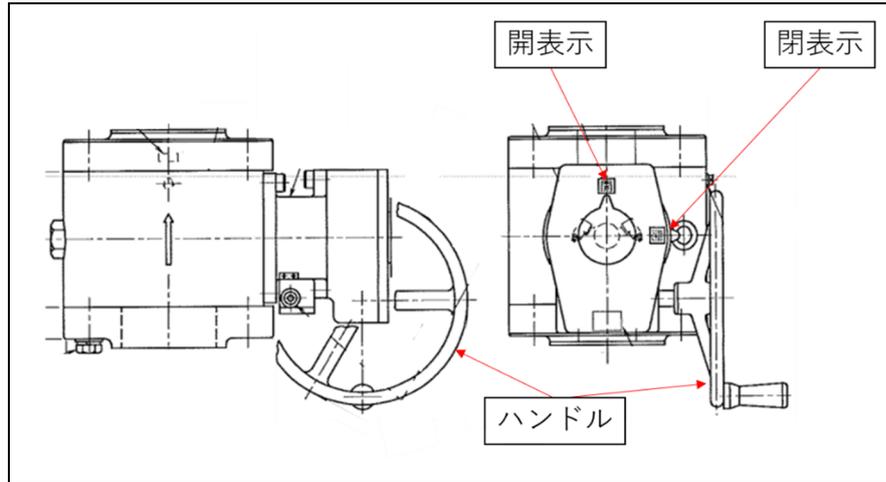
③ 表示灯を確認する
操作箱「閉止弁開」表示灯が消灯していることを確認します。



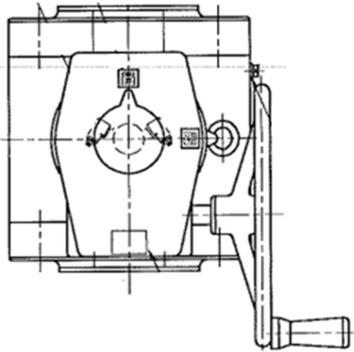
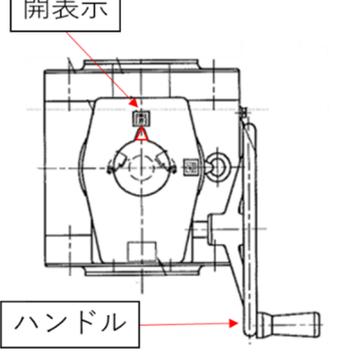
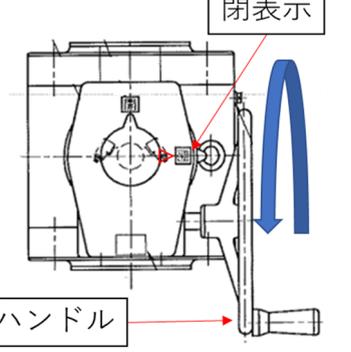
④ 表示灯を確認する
制御盤区画パネル部「閉止弁開」表示灯が点灯していることを確認します。

4-6. HB-GF型 (125A~150A: 集合管用閉止弁)

1) 外観

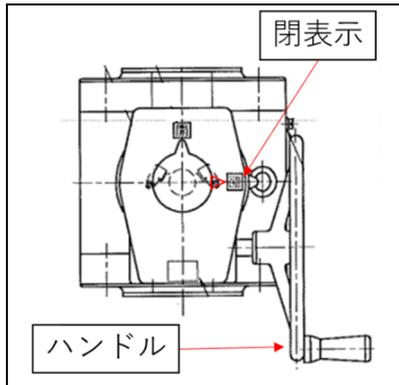


2) 閉止状態にする場合 (入室時)

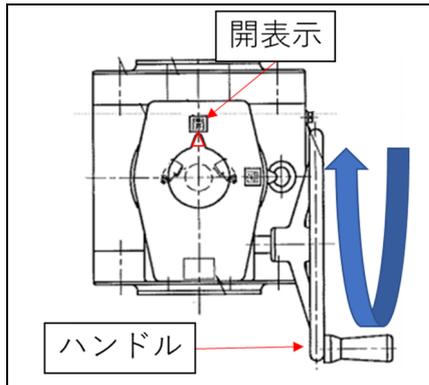
		
<p>① 設置位置の確認 ボンベ庫内メイン管に設置されている閉止弁を確認します。</p>	<p>② ハンドルを握る 開閉表示「開」になっていることを確認し、ハンドルを握ります。</p>	<p>③ ハンドルを回す 開閉表示「閉」方向にハンドルを回します。</p>

	
<p>④ 表示灯を確認する 操作箱「閉止弁閉」表示灯が点滅していることを確認します。</p>	<p>⑤ 表示灯を確認する 制御盤区画パネル部「閉止弁閉」表示灯が点滅していることを確認します。</p>

3) 開放状態にする場合（退室時）



① ハンドルを握る
開閉表示が「閉」になっていることを確認し、ハンドルを握ります。



② ハンドルを回す
開閉表示「開」方向にハンドルを回します。



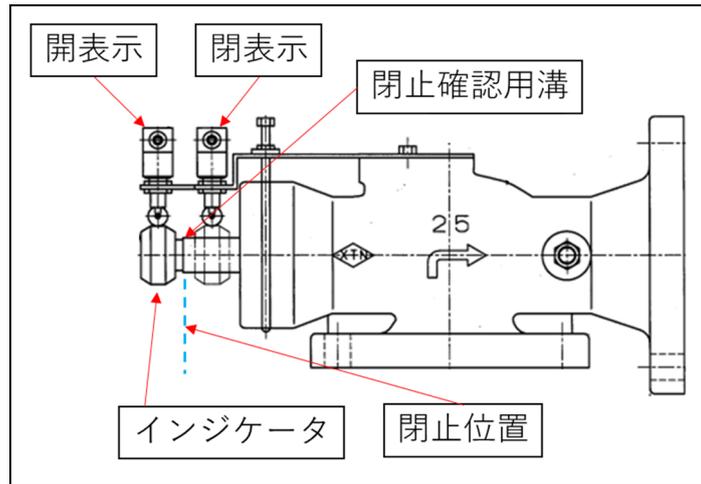
③ 表示灯を確認する
操作箱「閉止弁開」表示灯が消灯していることを確認します。



④ 表示灯を確認する
制御盤区画パネル部「閉止弁開」表示灯が点灯していることを確認します。

4-7. HB-DF型 (25A~80A: 集合管用閉止弁)

1) 外観

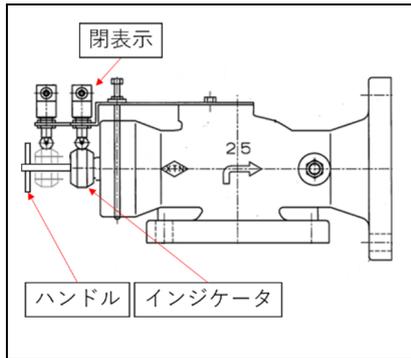


2) 閉止状態にする場合 (入室時)

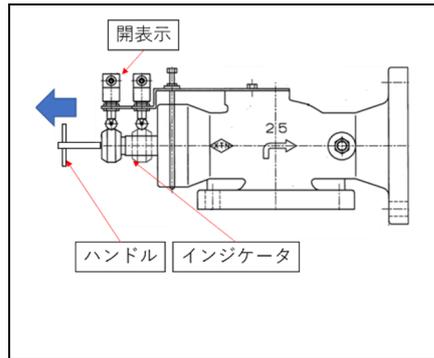
<p>① 設置位置の確認 ボンベ庫内メイン管に設置されている閉止弁を確認します。</p>	<p>② ハンドルを取付ける インジケータにハンドルを取り付けます。</p>	<p>③ ハンドルを押し ハンドルを押し、インジケータの閉止確認用溝が本体面と同じ面になるまで押します。</p>

<p>④ 表示灯を確認する 操作箱「閉止弁閉」表示灯が点滅していることを確認します。</p>	<p>⑤ 表示灯を確認する 制御盤区画パネル部「閉止弁閉」表示灯が点滅していることを確認します。</p>

3) 開放状態にする場合 (退室時)



① ハンドルを握る
開閉表示が「閉」になっていることを確認し、ハンドルを握ります。



② ハンドルを引く
開閉表示「開」方向にハンドルを引いた後、ハンドルを外します。



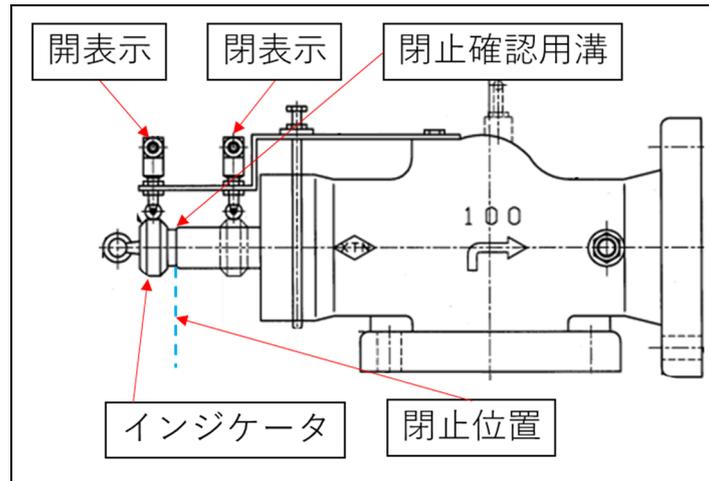
③ 表示灯を確認する
操作箱「閉止弁開」表示灯が消灯していることを確認します。



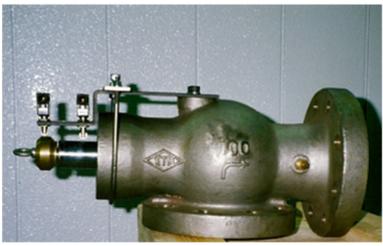
④ 表示灯を確認する
制御盤区画パネル部「閉止弁開」表示灯が点灯していることを確認します。

4-8. HB-DF型 (100A~150A: 集合管用閉止弁)

1) 外観



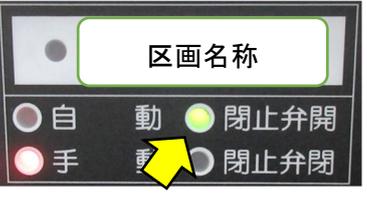
2) 閉止状態にする場合 (入室時)

		
<p>① 設置位置の確認 ボンベ庫内メイン管に設置されている閉止弁を確認します。</p>	<p>② 点検用バーを取付ける インジケータに点検用バーを取り付けます。</p>	<p>③ 点検用バーを押す バーを押します。 確実に閉止するため、インジケータの閉止確認用溝が本体面と同じ面になるよう写真のようにテコで押します。</p>

	
<p>④ 表示灯を確認する 操作箱「閉止弁開」表示灯が点滅していることを確認します。</p>	<p>⑤ 表示灯を確認する 制御盤区画パネル部「閉止弁開」表示灯が点滅していることを確認します。</p>

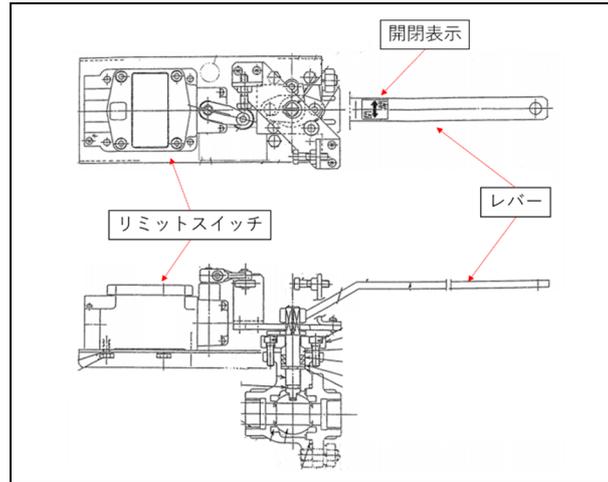
3) 開放状態にする場合（退室時）

	
<p>① 点検用バーを取付ける 開閉表示が「閉」になっていることを確認し、バーを握ります。</p>	<p>② バーを引く 開閉表示「開」方向にハンドルを引いた後、バーを外します。</p>

	
<p>③ 表示灯を確認する 操作箱「閉止弁開」表示灯が点灯していることを確認します。</p>	<p>④ 表示灯を確認する 制御盤区画パネル部「閉止弁開」表示灯が点灯していることを確認します。</p>

4-9. HB-LM型 (集管用閉止弁)

1) 外観

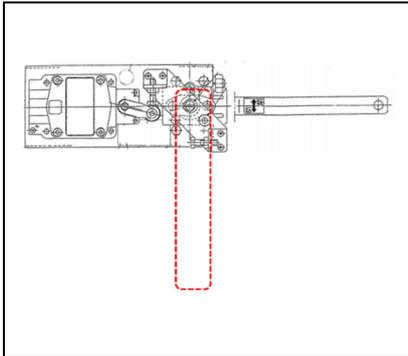


2) 閉止状態にする場合 (入室時)

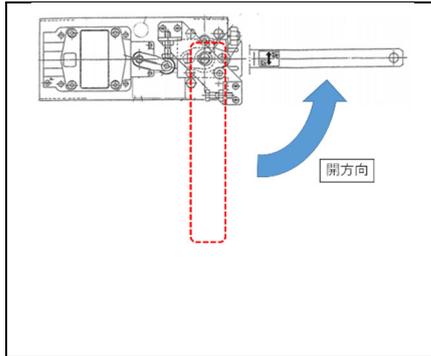
<p>① 設置位置の確認 ボンベ庫内メイン管に設置されている閉止弁を確認します。</p>	<p>② レバーを握る 開閉表示「開」になっていることを確認し、レバーを握ります。</p>	<p>③ レバーを回す 開閉表示「閉」方向にレバーを回します。</p>

<p>④ 表示灯を確認する 操作箱「閉止弁閉」表示灯が点滅していることを確認します。</p>	<p>⑤ 表示灯を確認する 制御盤区画パネル部「閉止弁閉」表示灯が点滅していることを確認します。</p>

3) 開放状態にする場合（退室時）



① レバーを握る
開閉表示が「閉」になっていることを確認し、レバーを握ります。



② レバーを回す
開閉表示「開」方向にレバーを回します。



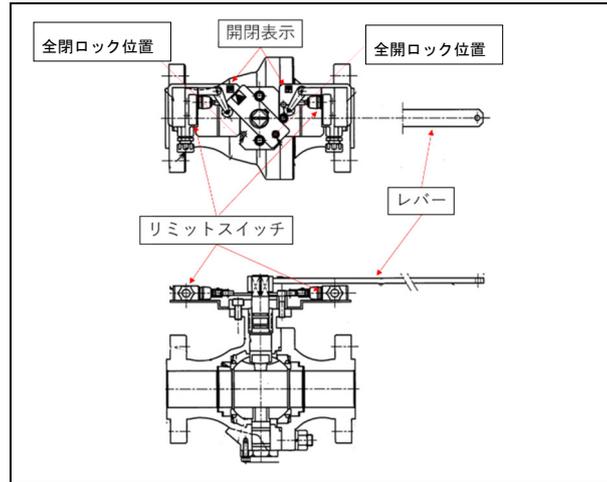
③ 表示灯を確認する
操作箱「閉止弁開」表示灯が消灯していることを確認します。



④ 表示灯を確認する
制御盤区画パネル部「閉止弁開」表示灯が点灯していることを確認します。

4-10. HB-NF型 (65A~80A: 集合管用閉止弁)

1) 外観



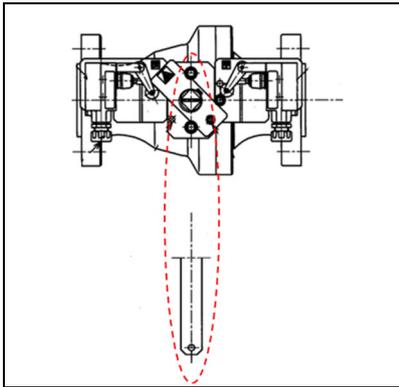
2) 閉止状態にする場合 (入室時)

<p>① 設置位置の確認 ボンベ庫内メイン管に設置されている閉止弁を確認します。</p>	<p>② レバーを握る 開閉表示「開」になっていることを確認し、全開ロック位置のボルトを外して、レバーを握ります。</p>	<p>③ レバーを回す 開閉表示「閉」方向にレバーを回します。開閉表示「閉」になっていることを確認し、全閉ロック位置でボルトを締め付けます。</p>

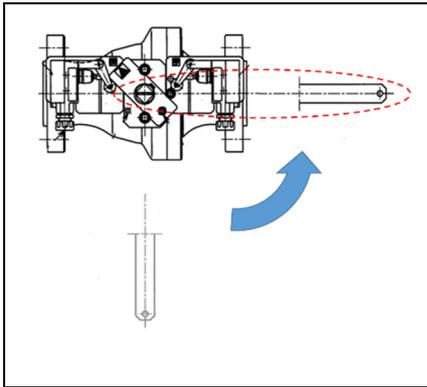
<p>④ 表示灯を確認する 操作箱「閉止弁閉」表示灯が点滅していることを確認します。</p>

<p>⑤ 表示灯を確認する 制御盤区画パネル部「閉止弁閉」表示灯が点滅していることを確認します。</p>

3) 開放状態にする場合（退室時）



① レバーを握る
開閉表示が「閉」になっていることを確認し、全閉ロック位置のボルトを外して、レバーを握ります。



② レバーを回す
開閉表示「開」方向にレバーを回します。開閉表示「開」になっていることを確認し、全開ロック位置でボルトを締め付けます。



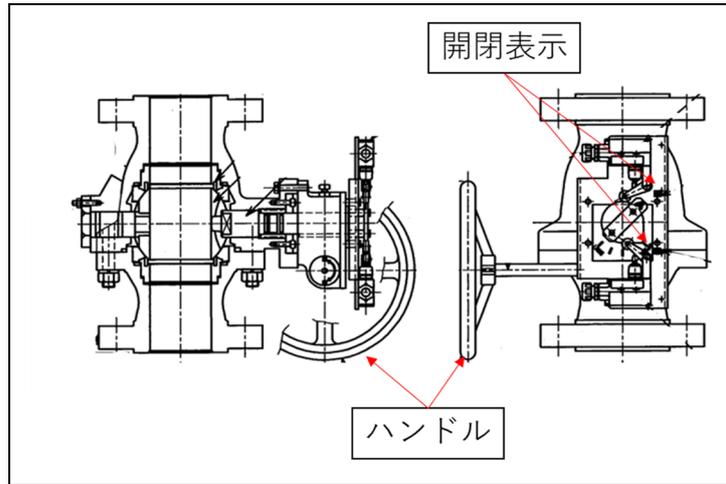
③ 表示灯を確認する
操作箱「閉止弁閉」表示灯が消灯していることを確認します。



④ 表示灯を確認する
制御盤区画パネル部「閉止弁開」表示灯が点灯していることを確認します。

4-11. HB-NF型 (100A~150A: 集合管用閉止弁)

1) 外観

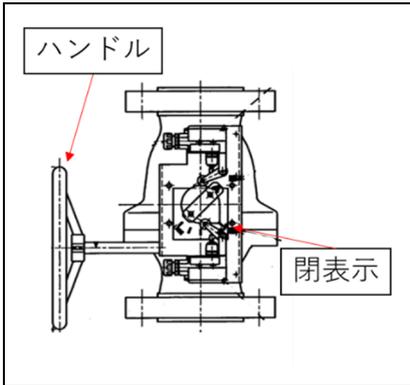


2) 閉止状態にする場合 (入室時)

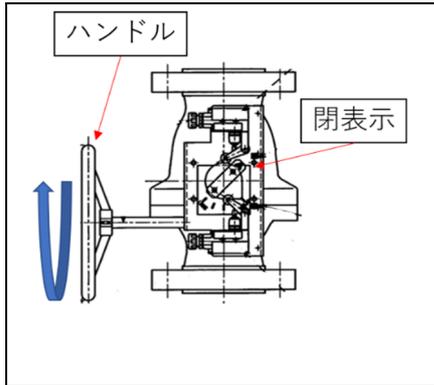
<p>① 設置位置の確認 ボンベ庫内メイン管に設置されている閉止弁を確認します。</p>	<p>② ハンドルを握る 開閉表示「開」になっていることを確認し、ハンドルを握ります。</p>	<p>③ ハンドルを回す 開閉表示「閉」方向にハンドルを回します。</p>

<p>④ 表示灯を確認する 操作箱「閉止弁閉」表示灯が点滅していることを確認します。</p>	<p>⑤ 表示灯を確認する 制御盤区画パネル部「閉止弁閉」表示灯が点滅していることを確認します。</p>

3) 開放状態にする場合 (退室時)



① ハンドルを握る
開閉表示が「閉」になっていることを確認し、ハンドルを握ります。



② ハンドルを回す
開閉表示「開」方向にハンドルを回します。



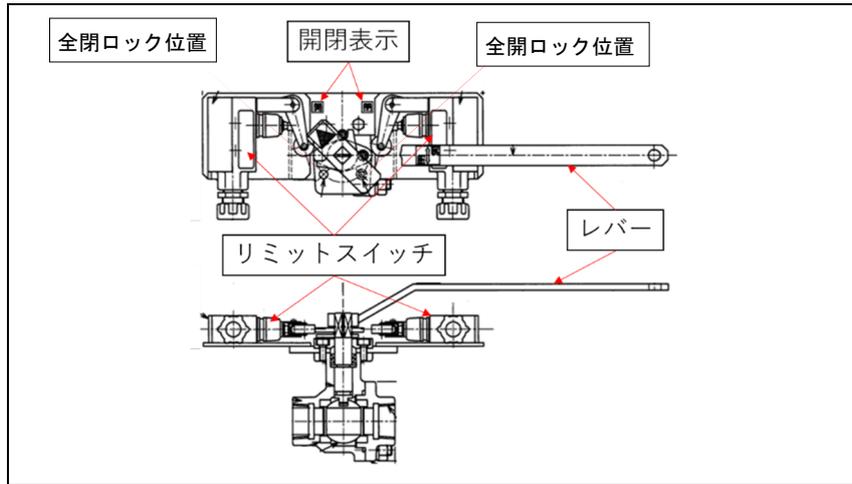
③ 表示灯を確認する
操作箱「閉止弁開」表示灯が消灯していることを確認します。



④ 表示灯を確認する
制御盤区画パネル部「閉止弁開」表示灯が点灯していることを確認します。

4-12. HB-NS型 (集合管用閉止弁)

1) 外観

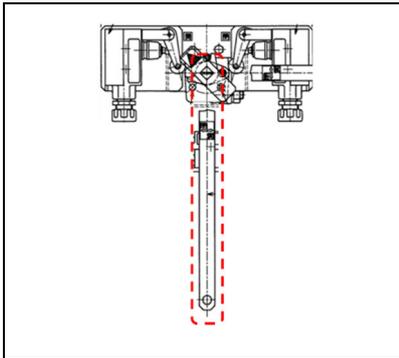


2) 閉止状態にする場合 (入室時)

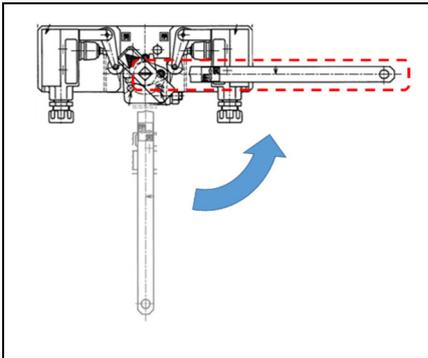
<p>① 設置位置の確認 ボンベ庫内メイン管に設置されている閉止弁を確認します。</p>	<p>② レバーを握る 開閉表示「開」になっていることを確認し、全開ロック位置のボルトを外して、レバーを握ります。</p>	<p>③ レバーを回す 開閉表示「閉」方向にレバーを回します。開閉表示「閉」になっていることを確認し、全閉ロック位置でボルトを締め付けます。</p>

<p>④ 表示灯を確認する 操作箱「閉止弁閉」表示灯が点滅していることを確認します。</p>	<p>⑤ 表示灯を確認する 制御盤区画パネル部「閉止弁閉」表示灯が点滅していることを確認します。</p>

3) 開放状態にする場合 (退室時)



① レバーを握る
開閉表示が「閉」になっていることを確認し、全閉ロック位置のボルトを外して、レバーを握ります。



② レバーを回す
開閉表示「開」方向にレバーを回します。開閉表示「開」であることを確認し、全開ロック位置でボルトを締め付けます。



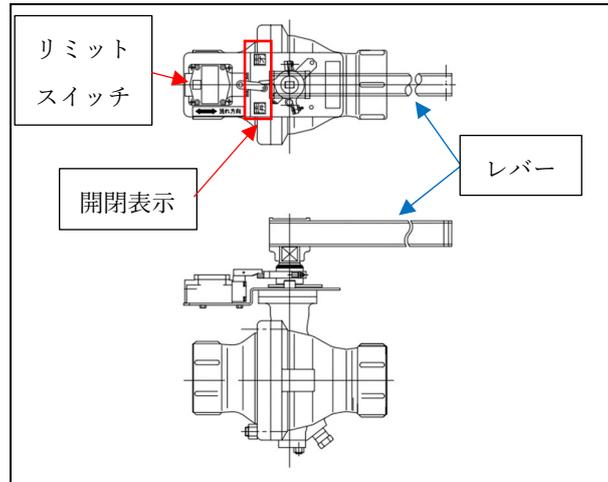
③ 表示灯を確認する
操作箱「閉止弁閉」表示灯が消灯していることを確認します。



④ 表示灯を確認する
制御盤区画パネル部「閉止弁開」表示灯が点灯していることを確認します。

4-13. QBV型 (25A~100A: 集合管用閉止弁)

1) 外観

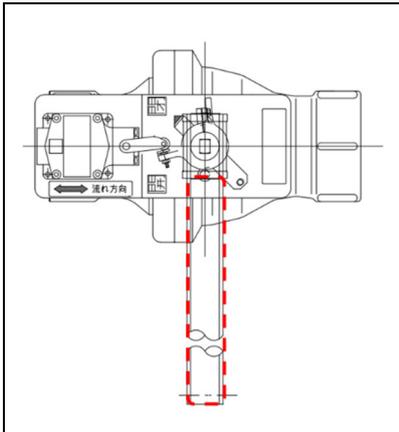


2) 閉止状態にする場合 (入室時)

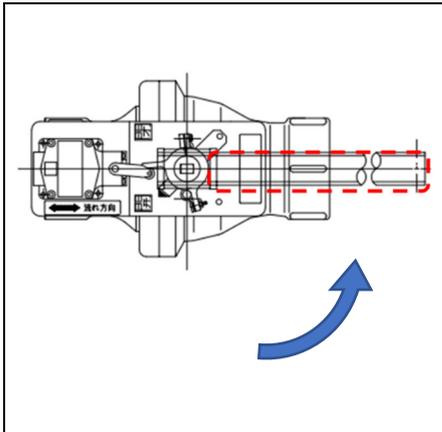
<p>① 設置位置の確認 ボンベ庫内メイン管に設置されている閉止弁を確認します。</p>	<p>② レバーを握る 開閉表示「開」になっていることを確認し、レバーを握ります。</p>	<p>③ レバーを回す 開閉表示「閉」方向にレバーを回します。</p>

<p>④ 表示灯を確認する 操作箱「閉止弁閉」表示灯が点滅していることを確認します。</p>	<p>⑤ 表示灯を確認する 制御盤区画パネル部「閉止弁閉」表示灯が点滅していることを確認します。</p>

3) 開放状態にする場合（退室時）



① レバーを握る
開閉表示が「閉」になっていることを確認し、レバーを握ります。



② レバーを回す
開閉表示「開」方向にレバーを回します。



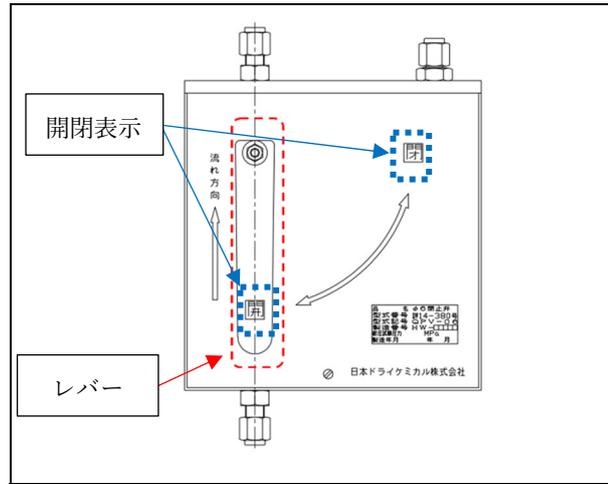
③ 表示灯を確認する
操作箱「閉止弁開」表示灯が消灯していることを確認します。



④ 表示灯を確認する
制御盤区画パネル部「閉止弁開」表示灯が点灯していることを確認します。

4-14. QPV-06型 (銅管用閉止弁)

1) 外観

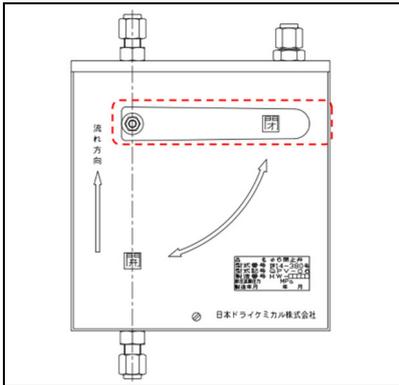


2) 閉止状態にする場合 (入室時)

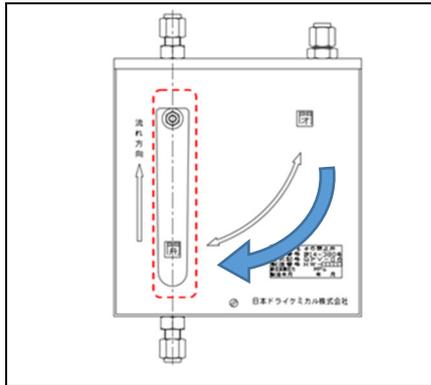
<p>① 設置位置の確認 ボンベ庫内メイン管に設置されている閉止弁を確認します。</p>	<p>② レバーを握る 開閉表示「開」になっていることを確認し、レバーを握ります。</p>	<p>③ レバーを回す 開閉表示「閉」方向にレバーを回します。</p>

<p>④ 表示灯を確認する 操作箱「閉止弁閉」表示灯が点滅していることを確認します。</p>	<p>⑤ 表示灯を確認する 制御盤区画パネル部「閉止弁閉」表示灯が点滅していることを確認します。</p>

3) 開放状態にする場合 (退室時)



① レバーを握る
開閉表示が「閉」になっていることを確認し、レバーを握ります。



② レバーを回す
開閉表示「開」方向にレバーを回します。



③ 表示灯を確認する
操作箱「閉止弁開」表示灯が消灯していることを確認します。



④ 表示灯を確認する
制御盤区画パネル部「閉止弁開」表示灯が点灯していることを確認します。

5 章 自動手動切換スイッチ等の操作方法

防護区画に立ち入る場合は、図2に示す「手順3」のとおり、制御盤または操作箱（手動起動装置）の自動手動切換スイッチ等により手動起動方式に切換えてください。また、自動手動切換スイッチ等により自動起動方式に切換える場合は、必ず防護区画に人がいないことを確認してから切替え操作を行ってください。

5-1 制御盤

5-1-1 CP-SD型

1) 外観



図3 主自動主手動切換スイッチの操作に係る箇所

制御盤に主自動主手動切換スイッチがない場合は、「手動起動方式」のみを採用している設備です。この場合、5章で説明する自動手動切換スイッチ等の操作は不要となりますので、図2の「手順3」及び「手順7」は省略してください。

2) 操作手順

防護区画が複数ある場合は、各防護区画の起動方式を一括で切替えることができます。

(1) 手動起動方式に変更する場合

- ① 主自動主手動切換スイッチに切換キーを挿します。
- ② 切換キーを主手動側に回し、「主手動」表示灯が点灯していることを確認します。



(2) 自動起動方式に変更する場合

- ① 主自動主手動切換スイッチに切換キーを挿します。
- ② 切換キーを主自動側に回し、「主自動」表示灯が点灯することを確認します。



5-1-2 CP-SC型

1) 外観

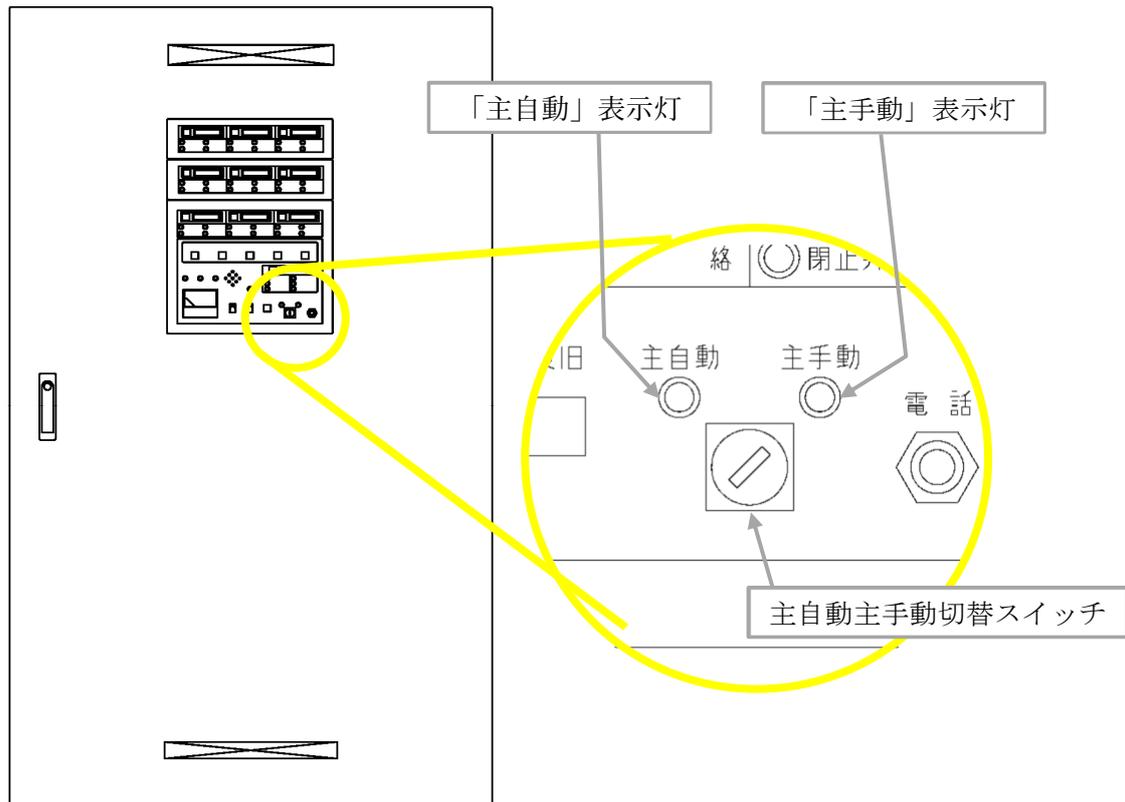


図3 主自動主手動切替スイッチの操作に係る箇所

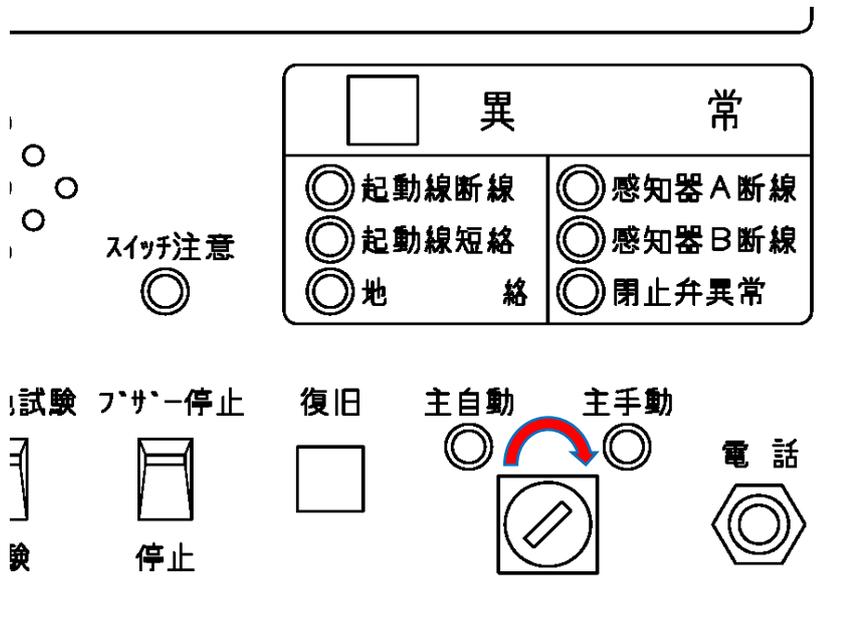
制御盤に主自動主手動切替スイッチがない場合は、「手動起動方式」のみを採用している設備です。この場合、5章で説明する自動手動切替スイッチ等の操作は不要となりますので、図2の「手順3」及び「手順7」は省略してください。

2) 操作手順

防護区画が複数ある場合は、各防護区画の起動方式を一括で切替えることができます。

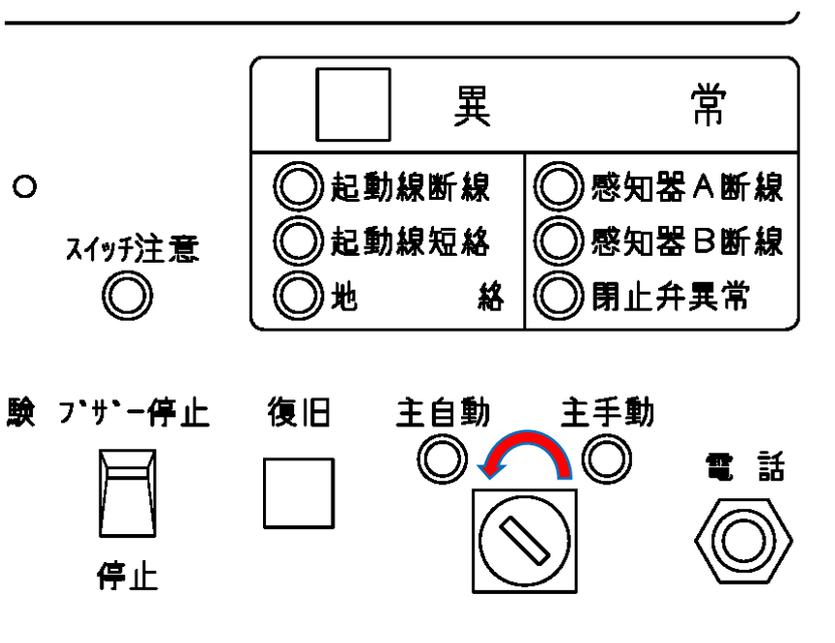
(1) 手動起動方式に変更する場合

- ① 主自動主手動切換スイッチに切換キーを挿します。
- ② 切換キーを主手動側に回し、「主手動」表示灯が点灯していることを確認します。



(2) 自動起動方式に変更する場合

- ① 主自動主手動切換スイッチに切換キーを挿します。
- ② 切換キーを主自動側に回し、「主自動」表示灯が点灯することを確認します。



5-1-3 CP-SA型

1) 外観

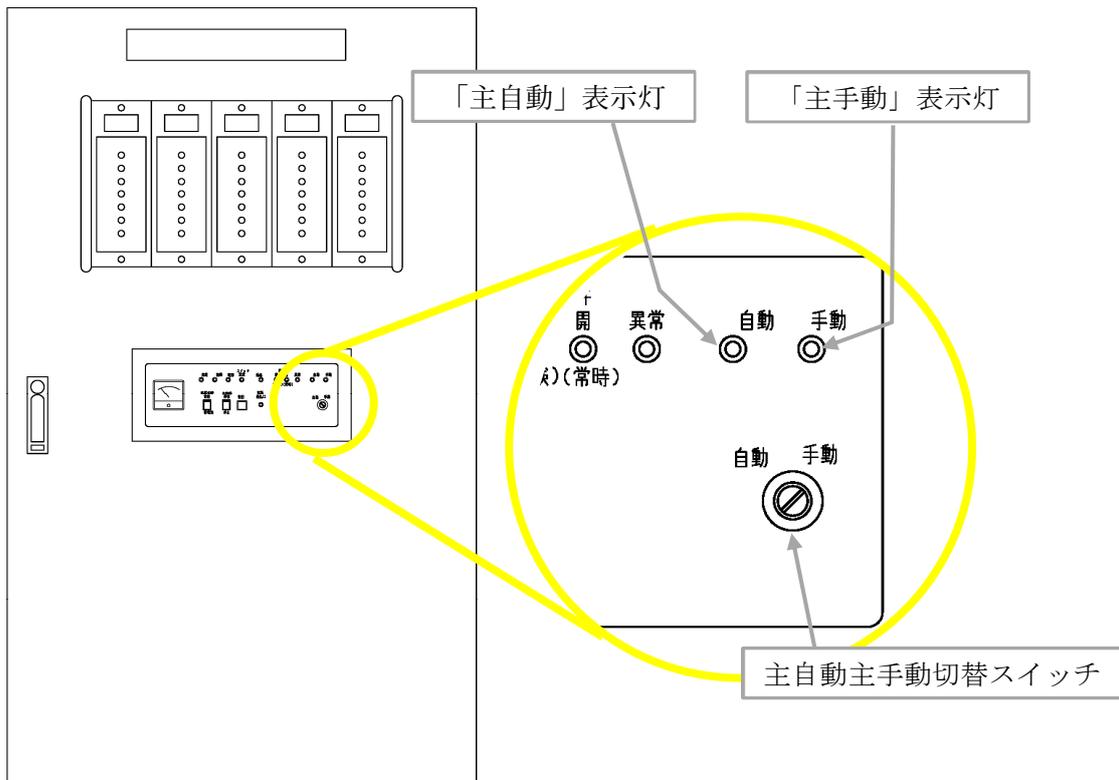


図3 主自動主手動切替スイッチの操作に係る箇所

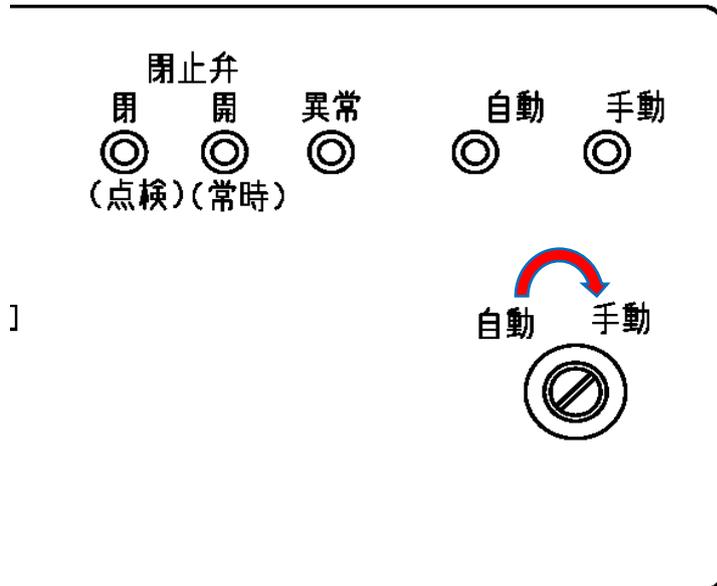
制御盤に主自動主手動切替スイッチがない場合は、「手動起動方式」のみを採用している設備です。この場合、5章で説明する自動手動切替スイッチ等の操作は不要となりますので、図2の「手順3」及び「手順7」は省略してください。

2) 操作手順

防護区画が複数ある場合は、各防護区画の起動方式を一括で切替えることができます。

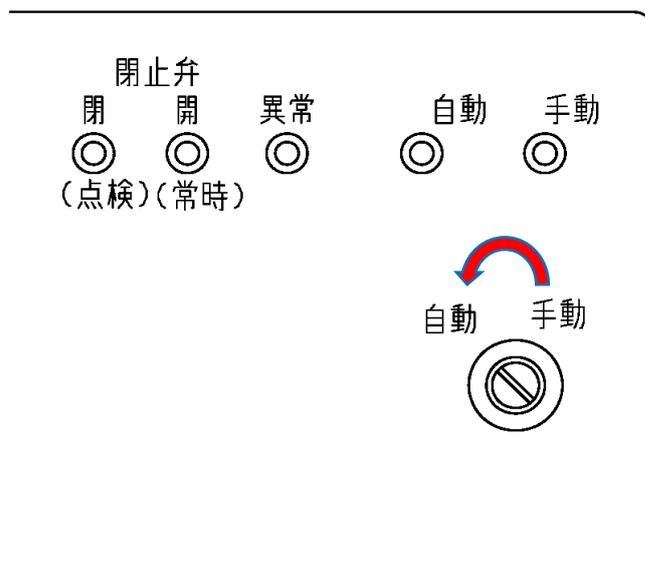
(1) 手動起動方式に変更する場合

- ① 主自動主手動切換スイッチに切換キーを挿します。
- ② 切換キーを主手動側に回し、「主手動」表示灯が点灯していることを確認します。



(2) 自動起動方式に変更する場合

- ① 主自動主手動切換スイッチに切換キーを挿します。
- ② 切換キーを主自動側に回し、「主自動」表示灯が点灯することを確認します。



5-1-4 CP-SA-05P型 (立駐用)

1) 外観

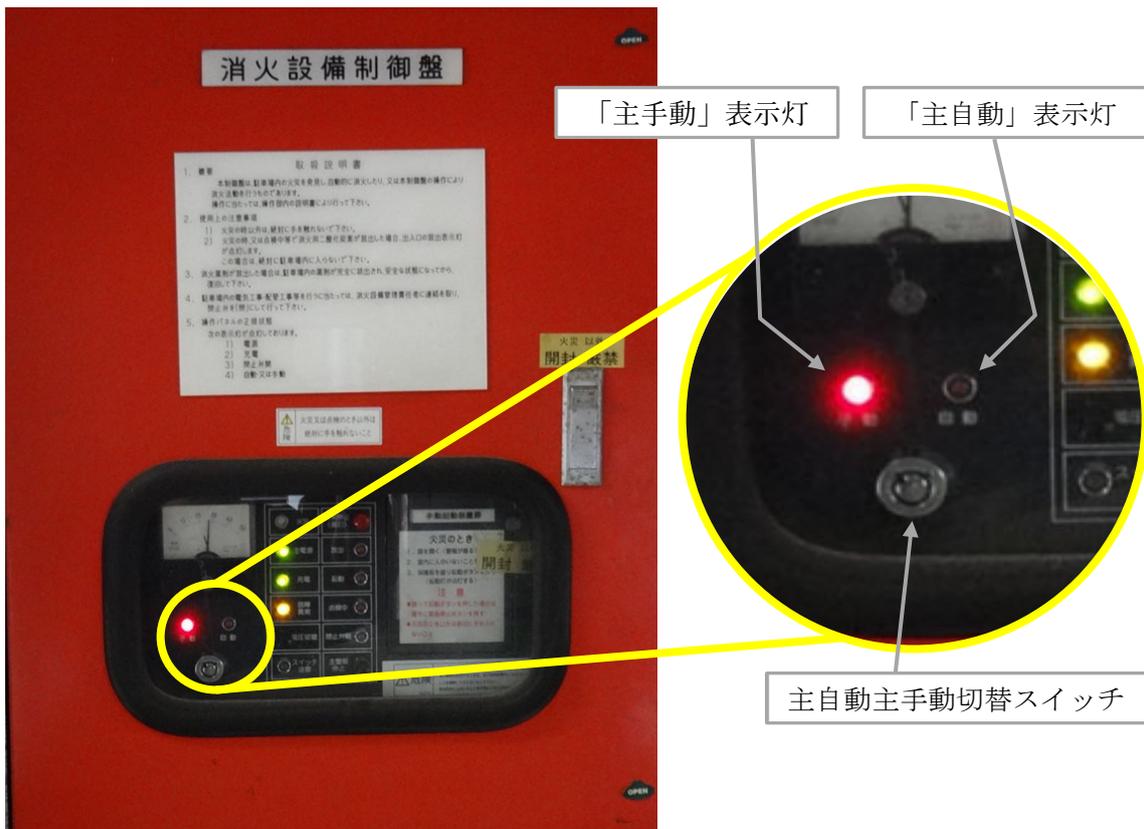


図3 主自動主手動切替スイッチの操作に係る箇所

制御盤に主自動主手動切替スイッチがない場合は、「手動起動方式」のみを採用している設備です。この場合、5章で説明する自動手動切替スイッチ等の操作は不要となりますので、図2の「手順3」及び「手順7」は省略してください。

2) 操作手順

防護区画が複数ある場合は、各防護区画の起動方式を一括で切替えることができます。

(1) 手動起動方式に変更する場合

- ① 主自動主手動切換スイッチに切換キーを挿します。
- ② 切換キーを主手動側に回し、「主手動」表示灯が点灯していることを確認します。



(2) 自動起動方式に変更する場合

- ① 主自動主手動切換スイッチに切換キーを挿します。
- ② 切換キーを主自動側に回し、「主自動」表示灯が点灯することを確認します。



5-2. 操作箱（手動起動装置）

5-2-1. 外観

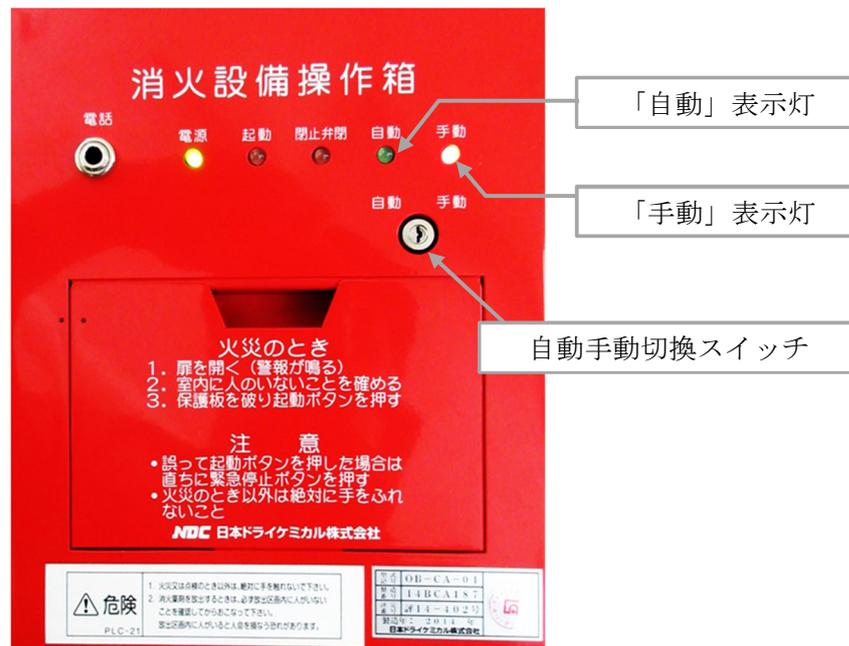


図4 自動手動切換スイッチの操作に係る箇所（OB-CA型の例）

操作箱に自動手動起動切換えスイッチがない場合は、制御盤により各防護区画の起動方式を一括で切替える方式、または手動起動方式のみを採用している設備です。この場合、操作箱の自動手動切換操作は不要です。

5-2-2. 操作手順

2) 手動起動方式に変更する場合

- ① 自動手動切換スイッチに切換キーを挿します。
- ② 切換キーを手動側に回し、「手動」表示灯が点灯していることを確認します。



3) 自動起動方式に変更する場合

- ① 自動手動切換スイッチに切換キーを挿します。
- ② 切換キーを自動側に回し、「自動」表示灯が点灯することを確認します。



添付資料 1
系統図を添付

添付資料 2
平面図を添付

●お問い合わせ先